

山行報告 小川山烏帽子岩左稜線

【山城】奥秩父 小川山

【コース】烏帽子岩左稜線

【山行形態】マルチピッチクライミング

【日時】2016年9月3日(土)

【天気】晴れ時々曇り

【メンバー】CL 平野直(記)、上茂

【タイム】駐車場 6:30-取付 7:10-1 ピッチ目スタート 7:25-第一懸垂地点 10:40-頂上
13:40-下降開始 14:00-駐車場 14:50

【報告】週末のお天気ははっきりしない。当初上茂さんと東海方面の沢を検討していたが、もう少し近場でより天気が安定していそうな小川山のクライミングに変更となった。

金曜夜に千葉を出発、中央道をスムーズに進みいつもの仮眠場所で軽く明日の健闘を祈り就寝。夜中は満点の星空だった。

翌日は午後天気崩れる予想だったので、なるべく早めに行動しようという事で、明るくなった5時前に起床、そそくさと準備朝食を済ませ小川山に移動、6時半には駐車場を出発出来た。

しっかり下調べをしていたおかげでアプローチは順調、この道もどんどん明瞭になってきたみたい。左稜線ルートの人気が伺える。

烏帽子岩左稜線は、比較的最近整備された最高グレード5.8、全18ピッチのロングルートだ。各ピッチは簡単だが、スムーズなロープ操作とルートファインディング能力が問われる。また、エスケープは14ピッチ目以外は難しい為、一旦取付くと一気に頂上を目指さなければいけない。もちろん中間支点、ピッチ終了点も殆ど自分達で構築しなければいけない中々やりがいのあるルートなのである。

さて、取付きで準備を済ませ、奇数ピッチ上茂さん、偶数ピッチ平野の順でスタートする。平野が1ピッチ目を登り始めた時、後続パーティがやってきた。4人パーティ(2×2)だったが、結局彼らが追い付く事はなく、終日上茂さんとルートをゆっくり独占できた。

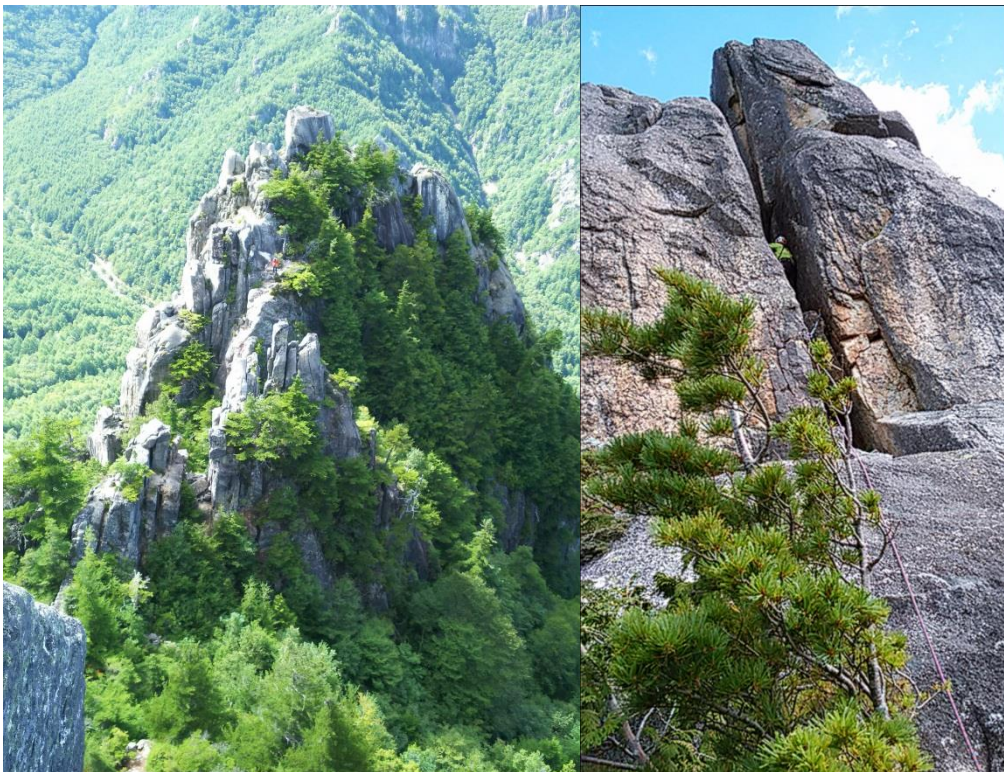
各ピッチについては概ね簡単なので説明は割愛する。左稜線というだけあって、基本的にリッジ上を行く事が多く、高度感、景色共最高だ。唯一時間がかかったのが2か所ある懸垂だった。残置の古ぼけたスリングがあったので、そこから20m懸垂下降する事は確かだが、着陸地点が定かではない。私はほぼ忠実にリッジに沿って懸垂したが、下部に行くほど大きく振られそうで怖かった。斜めに降りたので、ロープの回収も引っかけりそうで、慎重に作業を行い、2ピッチの懸垂及びその間のコンテ歩きで1時間以上かかってしまった。今後の練習課題である。

そして唯一の核心部が最終18ピッチ目の5.8チムニーだ。記録では15mノープロテクションなどと書いてあり、恐怖心がつる。慎重にオブザベするとチムニー奥に何とかカムが入りそうな割れ目がある。荷物は後から引き上げる事にして意を決して離陸、手を目一杯のばしてプロテクションを2か所取る事に成功した。背中や膝その他使える部分は総動員してずりずりと体を引き上げていく。最後に残置支点があり、これにヌンチャクを掛け

フェースに飛び出すと一安心。目の前に頂上ピナクルがドンと現れ登攀終了。続いて登ってきた上茂さんとがっちり握手をして、自撮り記念写真。ゆっくりお昼を食べてから下降ルートを下山した。



11 ピッチ目L字のリッジ



12、13 ピッチ目の後続パーティ

18 ピッチ目チムニー5.8



やったー！